



稲高だより

インターハイ特別号

静岡県立稲取高等学校
令和5年6月20日
第3号(通算156号)
まこと いっくしみ つとめる
「誠 愛 力」

男子バレーボール部

下級生チームでのインターハイ
今後の活躍に期待

静岡県高等学校総合体育大会バレーボール競技東部地区予選
令和5年5月13日、14日
1回戦 稲取 0-2 富士宮西



33HR 田中 蓮(下田東中学校出身)

僕達、稲取高校男子バレーボール部は、下級生の多いチームでインターハイにのぞみました。高校から始めた人いる中で、インターハイ前の1カ月で調整するため、1人1人が意識が高く、自主的に練習してくれました。朝練を取り入れたり、夜遅くまで自主練している姿は3年生の自分たちにごく刺激になりました。インターハイの結果は、負けてしまいましたが、この1カ月で人間的にも技術的にも成長させてくれた1、2年生と、3年間ご指導して下さった福島先生、伏見先生、見守って下さった保護者の方々にとっても感謝をしています。次は勝つことで支えて下さった方々に恩返ししたいと思います。全日本選手権に3年生として残り、目標の「東部優勝・県ベスト4」を達成したいと思います。そのため日々の練習だけでなく生活態度など、日々の私生活からメリハリをつけすべての人に応援されるチームにしていきたいです。



女子バレーボール部

10年ぶりのインターハイ県大会出場！
県大会でも強豪校とフルセットの大熱戦！！

静岡県高等学校総合体育大会バレーボール競技東部地区予選
令和5年5月13日、14日
1回戦 稲取 2-1 日大三島

2回戦 稲取 0-2 富岳館

順位戦

1回戦 稲取 2-0 御殿場南

2回戦 稲取 2-0 沼津東

3回戦 稲取 2-0 富士市立

9位 県大会出場



32HR 石坂 七海(南伊豆東中学校出身)

私たち女子バレー部は、県大会出場を目標に日々の練習を頑張り、どの学校よりも努力し続けました。このチームの平均身長は156cmと、県の中で一番小さいチームでした。そのため、攻撃面では悩むことが多かったです。しかし、このチームの武器であるレシーブで強豪校相手にも粘り続け、勝ちに結び付く試合をたくさんしてきました。秋と冬の公式戦では、組み合わせに恵まれなかったり、怪我也あったりと、悔しい思いをしました。その悔しさもバネに絶対に県大会に行くという強い思いで、インターハイに臨みました。インターハイ東部予選では、全員が当日ベストな状態で挑むことができ、10年ぶりの県大会を手にすることができました。県大会でも中部3位を相手にフルセットで戦い、負けてはしまいましたが、最後までこのチームで試合ができて良かったです。ここまでこれたのもチームメイト、親、先生方の支えと応援があったからです。3年間、ありがとうございました。



卓球

練習の成果を発揮

静岡県高等学校総合体育大会卓球競技東部地区予選
令和5年4月30日、令和5年5月4日、令和5年5月7日
ダブルスの部 出場
シングルの部 出場
学校対抗の部 稲取1-3富岳館

22HR 中西 響希(下田中学校出身)

インターハイに向けて、僕達は色々な練習をしました。フォア、バック打ち、サーブレシーブの練習、試合形式でコースの練習などをしていきました。コロナウィルス感染症によって大会も色々な制限がありましたが、インターハイはその制限のほとんどがなくなり、コロナ前のように声を出せるようになりました。インターハイは、ダブルス、シングルス、学校対抗の部と3つがありました。どの部でも良いプレーができました。高校から卓球を始めて1年でインターハイに出場しました。これは一緒に練習してくれた仲間たち、そして顧問の秋山先生のおかげです。



レスリング部

先輩に教えてもらったことを次へと繋げる

静岡県高校生レスリング選手権大会

令和5年5月6日

総合の部 60kg級 長田悠空 3位

総合の部 65kg級 杉原光祐 4位

総合の部 92kg級 稲葉雅斗 3位

静岡県高等学校総合体育大会レスリング競技

令和5年5月7日

グレコローマン 60kg級 長田悠空 3位

グレコローマン 65kg級 杉原光祐 3位

グレコローマン 92kg級 稲葉雅斗 3位

静岡県高等学校総合体育大会レスリング競技

令和5年5月28日

フリー 80kg級 鈴木麗空歩 3位

フリー 125kg級 稲葉雅斗 2位

女子バスケットボール部

今まで支えてきたくれた人たちに感謝

静岡県高等学校総合体育大会バスケットボール競技
東部地区予選
令和5年4月22日、23日 Dリーグ
稲取 38-80 伊豆中央 稲取 47-59 伊豆伊東
稲取 30-96 田方農業

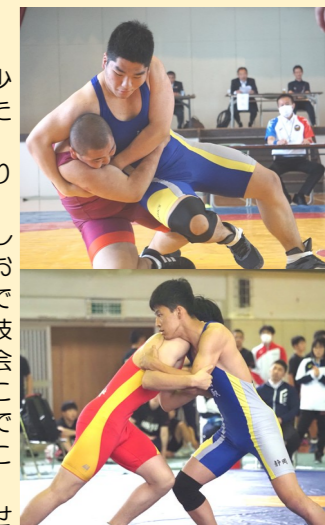
32HR 山口 由真(稲取中学校出身)

三年間を通して思ったことは、最後までバスケットを続けてきてよかったと思いました。選手は4名しかいなかったの、大会にも全く出場できていませんでした。普段の練習をやる意味が分からず、部長である私と副部長はやる気さえなくなっていました。そのような中、あとの部員3人は「最後までやり切りたい。」と言い、その言葉を聞いてもう一度やってみようという気持ちにさせてくれました。そう思わせてくれた部員には感謝しきれません。顧問の泰先生と黒木先生はどんな時でも部活を優先してくれ、私たちに必要な練習メニューを考えてくださり、時には厳しい言葉をかけてくれました。苦しくて辛い練習ばかりでしたが、みんなで声を掛け合い最後までやり遂げることができました。インターハイでは一年生の力を借り、力を合わせながら思いっきりプレイをすることができました。最後まで悔いが残らずできたのは、今まで嫌な顔ひとつせずついてきてくれた後輩や、どんな状況でも私たちの可能性を信じてくれた顧問の先生方、普段一番近くで支えてくれた家族のおかげだと思います。3年間本当にありがとうございました。



23HR 鈴木 麗空歩(熱川中学校出身)

私たちは、他の部活と比べ人数が少なく休みの人が出ると練習が成り立たない日もありました。その中で、皆、一生懸命に取り組み、部員一人ひとりが声出しや、自分を追い込むことで、チーム全体の士気を高めていきました。入部当初は、体もあまり出来ておらず、技もキレがありませんでしたが、だんだんと体が変化して、技にもキレが生まれました。今回の大会本番では、今までの大会では掛けることができなかった技を掛けることができました。練習での成果を発揮することができました。私たちは今回の成果だけで満足せず、努力を惜しまず日々頑張っていきます。そして、先輩たちが引退し、私達二年生が部活動を引っ張っていく番になりました。今までと違い、多くの責任や皆を引っ張っていくリーダーシップなどたくさんの力が必要になってきます。私達の方で私達らしいレスリング部を築いていきたいです。



陸上部

日々の練習の成果発揮で自己ベスト連発

静岡県東部陸上競技選手権大会

令和5年4月15日～16日

松本土竜 男子400m 第15位 県選手権出場

八代勇渡 男子3000mSC 第7位 県選手権出場

山本拓冬 男子5000mW 第3位 県選手権出場

金指 權 男子5000mW 第11位 県選手権出場

上嶋朋季 男子円盤投(2kg) 第11位 県選手権出場

西村 雫 女子5000m 第10位 県選手権出場

中西仁瑚 女子5000mW 第1位 県選手権出場

中西仁瑚 女子円盤投 第10位 県選手権出場

静岡県高等学校総合体育大会陸上競技東部地区予選

令和5年4月28日～30日

松本土竜 男子八種競技 5位 県高校総体出場

八代勇渡 男子3000mSC

山本拓冬 男子5000mW

上嶋朋季 男子円盤投

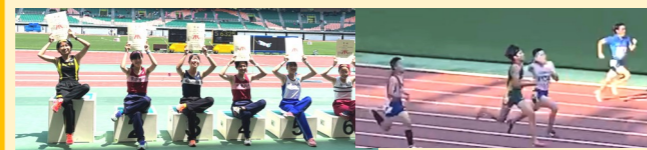
中西仁瑚 女子5000mW 女子円盤投げ

以上は県トップ/上位者での県大会出場決定

31HR 松本 士竜(河津中学校出身)

東部インターハイでは8種に出場し目標に届かなかったですが、県大会出場権を獲得することができました。他にも4人5種目が県大会に出ることになり良かったです。

私自身は東部インターハイで悔しい思いをしたので、初めて出れることになった県大会で目標を達成すること、皆に良いところを見せようと思い練習に取り組んでいきました。県大会ではとても緊張しました。走る場所や使う物が違い不安ばかりでした。ですが、いざ競技をすると日々の練習の成果を発揮し、自己ベストを連発し8種目すべて自己ベストを更新することができました。目標を達成することができて良かったです。まだまだ力不足な競技があったり、100点の走りができたわけではないですが、県大会という舞台にでることができて、とてもいい経験となりました。3年間部活動をやりきることができたのは、陸上部の仲間、家族の支えがあったこと、そして一番の力になったのは顧問の下山先生、鳥澤先生などの多くの人の応援があったからです。そのおかげで今回も頑張ることができました。感謝しています。



静岡県高等学校総合体育大会陸上競技大会

令和5年5月19日～21日

松本土竜 男子8種競技 8位 自己ベスト更新

中西仁瑚 女子5000mW 東海大会出場

静岡県高等学校総合体育大会体操競技・新体操大会 東部地区大会

令和5年4月23日

団体 1位(横山昂成・野中頼・児島呼人・齋藤晃琉)

個人 横山昂成 1位

野中頼 2位

児島呼人 3位

静岡県高等学校総合体育大会体操競技・新体操大会

令和5年5月14日

団体 2位(横山昂成・野中頼・児島呼人・齋藤晃琉)

個人 4位 横山昂成

5位 児島呼人

6位 野中頼

静岡県体操競技・新体操選手権大会

令和5年6月3日

団体 2位(横山昂成・野中頼・児島呼人・齋藤晃琉)

個人 4位 横山昂成

5位 野中頼

6位 児島呼人

新体操部

団体・個人で東海大会出場権を獲得

22HR 横山 昂成(稲取中学校出身)

5月14日に行われたインターハイ県大会では団体で2位となり、東海大会へ出場します。また、僕は個人でも4位に入り、東海大会へ出場できることが決まりました。

新体操の団体演技の人数は6人ですが、県大会には4人で出場したため、その時点で減点となってしまいます。東海大会では、1年生1人が加わったとしても減点からのスタートになります。それを補えるような演技ができるよう、日々の練習を大切にしていきたいです。

これからは、いつも勝てずに悔しい思いをする島田工業高校に勝つことを目標に、また、来年度も稲高新体操部の継続を目指し、先輩がたくさん入部してくれるようにがんばっていきたいです。応援よろしくお願いします。



東海大会へ向けて

稲取高校は、陸上部・レスリング部・新体操部の3部活がインターハイ東海大会へ出場します！

●陸上部 5,000m競歩

23HR 中西 仁瑚(熱川中学校出身)

大会当日、私は緊張していて、レース序盤も東海大会へ行けないかもしれないという不安でいっぱいでした。しかし、レース中に聞こえてくる先生からの声掛けや仲間と家族の応援の声で、頑張ろうと思えました。ゴールして夢だった東海大会への出場が決まった瞬間、3位の表彰台に乗った時は、喜びでいっぱいでした。

時には一緒に歩きながら指導してくださった下山先生、最後まで練習を見守ってくださる鳥澤先生、共に励まし合って練習してきた仲間、練習を支えながら応援してくれたマネージャーさんのおかげで日々の練習を頑張ってきました。そして、大会後、メッセージをくれた家族、友達、学校の先生方などたくさんの人に支えられていることも改めて感じました。とても感謝しています。

東海大会では強い選手についていけるよう自己ベストを目指して全力で臨みたいです。

●レスリング部 125kg級フリーの部

22HR 稲葉 雅斗(熱川中学出身)

目標の一つであった東海大会へ出場することができました。県大会には、怪我に苦しみました。その中で、私はどうしてもこんなことをしてしまったのだろうと何回も考え、次からは、もう怪我をしないようにしようと思い日々、反省点を見つけ、改善してきました。その積み重ねの成果が、東海大会への出場につながったのではないかと思います。

東海大会では、まずは1勝と怪我をせずに帰ってくることを目標にしたいと思います。今まで練習してきたことを生かして、頑張っていきたいです。

いつも指導していただいた顧問の田力先生や外部コーチの佐々木先生、阿部さんに感謝しています。

顧問・外部コーチの応援があり、先輩たちとの質の高い練習のおかげで、技のレベルを上げることができました。東海大会では、この感謝と先輩たちの思いを忘れずに戦いたいと思います。

